



クラウドベースのベストプラクティスへの移行

実装期間は1ヶ月で、予算数値入力者からの予算データを収集する大量の時間を節約できました。

課題

ビジネスの成長の促進が必要になったとき、Boston ScientificはITサポートに頼ってオンプレミスソフトウェアシステム内でビジネスルール、計算、条件の更新を行っていました。Workday Adaptive Planningは、それを財務チーム自身が実行できるようにしました。技術的な遅延の代わりに、財務チームは今ではシナリオモデリングとビジネスインパクトの分析に集中しています。予算とレポートの管理は、Boston Scientificの舵を取ってビジネスの生産性を最大に保つ主要な貢献者の手に委ねられています。

- ITに依存した予算システム管理
- 予算モデルの前提条件の可視性が欠落
- ビジネスの運用が変化したときにシステムの変更が困難



当社はオンプレミスソリューションの保守に何百万ドルもの費用と何年もの期間を要していたのですが、Workday Adaptive Planningにより、非常に少ないコストでより優れた予算プロセスを達成しました。

MARK POWERS 氏
BOSTON SCIENTIFIC、シニア財務マネージャー

活動成果

- これまで計算の確認や追跡作業に費やしていた時間の大部分を削減
- 財務リーダーと他部門のリーダー間での共同作業を改善し、予算と予測に対する合同オーナーシップ意識を向上
- オンプレミスエンタープライズソフトウェアの総所有コストと比較して年間300%のROI



**Boston
Scientific**

Overview

- 事業内容: インターベンショナルカーディオロジー、ペリフェラルインターベンション、リズムマネジメント、エンドスコーピー、ウロロジー&ペルビックヘルス、ニューロモジュレーション

詳細 / 結果

ミネソタ州セントポールにあるBoston Scientificの工場では250名の従業員を雇用しています。既存の予算策定およびプランニングプロセスには、高度にカスタマイズされたHyperionプラットフォームを使用していました。予算策定の大部分がビジネスルールと計算に使用する前提条件に基づいて行われ、その保守はIT部門が担っていました。財務チームはExcelでデータを収集し、Hyperionで更新してもらうようITチームに依頼していました。新規ビジネスルールを実行するためのシステムアップデートは最長で2時間かかりました。「Hyperionで予算を管理することが困難になってきました」とBoston Scientificのシニア財務マネージャー、Mark Powers氏は述べています。「ビジネス条件が変化したり、製品が追加や削除されたりするたびに、IT部門のコード技術者に依頼して、Hyperionのカスタマイズとスクリプトの再実行をしてもらう必要がありました。財務チームと業務チームのスタッフには、Hyperionのスクリプトにどのような前提条件やビジネスドライバーが入っているのか不明瞭だったため、非常にフラストレーションがたまる状況でした。この問題は、Hyperionの特定のインスタンスの販売が終了し、ITサポートも打ち切られたときには、大問題になりました。」

財務チームは既存の予算を自ら所有・管理できるソリューションを求めていました。それと同時に既存のプラットフォームより格段に速いシナリオモデリングができるツールも必要でした。予算策定と予測作成のベストプラクティスに関するセミナーに出席した財務チームのスタッフは、当時のHyperionに保管していた予算モデルをWorkday Adaptive Planningを使用して置き換えることを決断しました。Boston Scientificは、年間予算策定プロセスの真ただ中にWorkday Adaptive Planningを実装し、25名のユーザーに展開しました。「Workday Adaptive Planningを実装し、お客様に展開してからいただいたフィードバックはポジティブなものばかりです」とPowers氏。「当社のユーザーは、Workday Adaptive Planningは使い勝手がよく、直観的な操作ができると言い、大変気に入っています」

成果

Workday Adaptive Planningを採用した結果、Boston Scientificの工場は予算プロセスの大幅な合理化に成功しました。予算サイクルタイムの6週間は以前と変わりませんが、部門スタッフが費やす時間を80時間短縮し、そのため2人の財務アナリストの仕事を財務チームが引き受けることができました。「今では、システムの問題やITの遅延の対応に費やす時間は短縮され、モデルの構成やビジネスへの影響を理解するために使える時間が増えました」とPowers氏は述べています。「25人が参加する予算プロセスで、情報へのアクセス、透明度、共同作業のレベルが大幅に向上しました。それにより、関係者と財務チームの間に信頼関係が構築されました」。現在Boston Scientificは、SAPからWorkday Adaptive Planningへのデータインポートによって管理報告を実施しています。さらに、ソフトウェアを利用して従業員生産性や売上に関するwhat-if分析を実行し、5ヶ年長期プランを管理しています。「Workday Adaptive Planningは予算策定プロセスで大変役立ちました。私たちの期待を越えたと言っても過言ではありません。当社が全社的に使用していたHyperionシステムで予算サイクル中に予期せぬダウンタイムが生じたとき、Workday Adaptive Planningで予算プロセスを続行できました」とPowers氏。「当社はオンプレミスのHyperionの保守に何百万ドルもの費用と何年もの期間を要していたのですが、非常に少ないコストでより優れた予算プロセスを達成しました」

“

25人が参加する予算プロセスで、情報へのアクセス、透明度、共同作業のレベルが大幅に向上しました。それにより、株主と財務チーム間に信頼関係が構築されました。

MARK POWERS 氏
BOSTON SCIENTIFIC、シニア財務
マネージャー